⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭60-103841

(5) Int Cl. 1 H 01 L

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和60年(1985)7月15日

23/02 23/08 27/14 33/00

Z - 7738 - 5F7738-5F 7525-5F 6666-5F

(全 頁) 審査請求 未請求

図考案の名称

電子部品装置

願 昭58-195123 ②実

昭58(1983)12月19日 魯出

Ш 彻考 案 者 秋

호 彦 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

橋 者 (2)考 案

幸 秀

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内 ソニー株式会社内 東京都品川区北品川6丁目7番35号

彻考 更 隆 案 者 林 小 ソニー株式会社 願 人 他出

東京都品川区北品川6丁目7番35号

貞 弁理士 伊藤 30代 理

外1名

明 細 書

考案の名称 電子部品装置 実用新案登録請求の範囲

台座の上に電子部品がマウントされると共に該電子部品に電気的に接続されたリード導体が上記台座の側方より突設されるように配置され上記台との周面を覆い上記リード導体の外端を露出させて第1のモールド体との共働によって上記電子部品を包囲する蓋体が配置され、該蓋体の周線部を複つて上記第1のモールド体に第2のモールド体が施されてなる電子部品装置。

考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は電子部品、例えば電荷転送素子CCD 構成による固体機像装置のような外光の取り入れ を必要とするとか、発光素子のように外部に光の 取り出しを必要とする半導体素子等の各種電子部 品を気密封止するに好適な電子部品装置に関する。 背景技術とその問題点

(1)



上述したCCDのような電子部品装置において は、例えば第1図に示すように中空(1)を有し、そ の中空(1)から複数のリード導体(2)が外部に突設さ れたセラミックパッケージ(3)が設けられる。(2a) はリード導体(2)の電子部品をマウントするいわゆ るダイボンド部を示すもので電子部品例えばCCD 素子(4)は、このダイポンド部 (2a) 上に機械的に、 更に或る場合は機械的及び電気的に取りつけられ る。セラミックパッケージ(3)の中空(1)上には透明 蓋体(5)が設けられ、これがその周線においてセラ ミックパッケージ(3)の中空部(1)の外端内周にエボ キシ樹脂等の接着剤(6)をもつて気密封着される。 (7)は 電子 部品(4) 例えば CCD 半導体ペレットのリ ードワイヤーで、このリードワイヤー(7)によつて 電子部品(4)の各端子が外部リード導体(2)の内端に 電気的に接続される。

このような構成によれば、透明蓋体 (5)を 適じて 電子部品例えば CCD に外光が 受光され、セラミ ックパッケージ (3)と 蓋体 (5)との 共働によつて電子 部品 (4) 及びこの電子部品とリード導体 (2) とのダイ



ポンド及びワイヤーポンドがなされた部分を外部 と気密的に遮断して封止するようになされている。

ところが、このようなセラミックパッケーシを 用いた電子部品は、コスト高となるを免れないは かりでなく、このセラミックパッケージはその成 形加工時による収縮が大きいために寸法精度を高 くできないという欠点がある。

これに比し低廉に且つ高精度にそのパッキングを形成できるものとして、樹脂モールドによつて電子部品の割止を行なう電子部品装置が提供された。この種の電子部品装置としては、例えば実開昭 57-157137号公報に開示されたものが挙げられる。

このような樹脂モールドによつて電子部品の封止を行なうようにしたものは、価格の低廉化、寸法精度の向上は図り得るものの耐湿性においてやや難点がある。

### 考築の目的

本考案は耐湿に優れ、しかも低廉に构成するととができるようにした電子部品装置を提供するも

のである。

#### 考案の概要

本考案は台座を設ける。この台座は比較的熱伝 導性にすぐれ放熱効果にすぐれていることが望ま しく、例えば金属或いは樹脂成形体よりなる。そ してこの台座上に電子部品例えばCCD半導体ペ レットの各端子が 飽気的に接続されるリード導体 が、この台座の側方に突設されるように配置する。 そしてこの台座の周面を機つてしかもリード導体 の外端を外部に露出するように第1のモールド体 を施す。この第1のモールド体は、台座上の電子 部品に直接接触することがなくこの電子部品を収 容する中空が設けられる。そしてこの第1のモー ルド体上にその中空を閉蓋するように蓋体例えば ガラスまたは樹脂板よりなる透明蓋体或いは光透 過性を必要としない場合には金属蓋体を配償する。 そしてこの蓋体と第1のモールド体との共働によ つて電子部品を包囲する。そして更に特に本発明 においてはこの蓋体の周縁部を後つて第1のモー ルド体の外周全域もしくは一部を残して第2のモ

ールド体を施す。

#### 実 施 例

第2図を参照して本考案の一例を説明する。例 えば予め成形されたモールド体或いは金属、プラ スチック等よりなる放熱効果にすぐれた放熱用台 座UDを設ける。この放熱用台座UD上には、複数の リード導体(12)を有する、例えばリードフレームが その各リード海体似の内端のリードワイヤーのボ ンディング部、更に電子部品がマウントされるべ きいわゆるダイボンド部 (12a) を台座(II)上に 載篚 させた状態で、第1の樹脂モールドを施して第1 のモールド体(13)を形成する。この第1のモールド 体(13)のモールド作業は、例えば第3図に示すよう に夫々キャピテイ(4)及び(15)を有する上金型(16)と上 金型切を用いて行なわれる。この場合、台座Шに はその下面に凹部(18)が設けられ、一方下金型(17)の キャビティ(15)内には、この台座(11)の凹部(18)と嵌合 する突起似が設けられて台座叫の位償決めがなさ れる。下金型(17)のキャビティ(15)はその中央部に台 坐 III が 配置され、その周辺に 例えば 環状の空間が

生じるように形成される。そしてこの下金型ロカー上 にリードフレーム即ちリード導体(12)を配置する。 この場合、台座(11)の上面と下金型(17)の上金型(16)と の突き合せ面とがほぼ同一平面に形成され、この 突き合せ面と台座印の上面とに差し渡つてリード 導体(12)が配値されるようになされる。一方、上金 型似の下金型切との突き合わせ面には、リード導 体心を挟み込む凹部こが設けられる。 またそのキ ヤビテイ(14)は、上述した下金型(17)のキャビテイ(15) による環状空間に対応する漿状空間を形成する環 状に形成し、その中央部にはリード海体(12)の各内 端が嵌合する凹部を有し、台座伽の上面と衝合す る突起心が設けられる。そして上金型加及び下金 型(17)の各キャピティ(14)及び(15)によつて形成された 空間内に樹脂を圧入して樹脂モールドを行なう。 このようにすると第2図に示すように電子部品の マウント部に中空口が設けられた、第1のモール ド体(13)が台座(11)とリード導体(12)の中間部を埋め込 むように施される。なおこの場合、第1のモール ド体(13)の中空(22)の上端外間には段部(23)が第1のモ

ールド(13)の成形と同時に成形される。

そして、この第1のモールド体(3)の中空(2)内に電子部品(2)、例えば CCD 半導体ペレットをマウントする。即ちリード導体(12)のダイボンド部(12a)上に電子部品(2)を載低し、周知の技術によつてダイボンドする。またこの電子部品(2)の各端子を対応する外部リード導体(12)の内端に例えばリードワイヤー(20)によって電気的に接続する。即ちワイヤーボンドを施す。このように中空(20)内に電子部品(20)と配置された状態で中空(20)の外周縁上の段部(20)上に、監体(24)例えばガラス、例脂板等の透明蓋体をのせ、中空(20)を別塞させる。

そして、これの上に第2の樹脂モールド体のを施す。この第2の樹脂モールド体ののモールドは、図示しないが同様に上金型及び下金型をリード導体(12)の外端を挟み付けるように配置して耐湿性に変れた樹脂材によるモールドによつて成形し得る。この第2のモールド体(2)は、蓋体(24)の中央部以外の特に蓋体(24)の全局縁の全域に亘りその周縁部上から第1のモールド体(13)の例えば全外局にまたが

つてこれらを包み込むように気密的にモールドする。

なお、例えば第4図に示すように蓋体24上に更に各種フイルタ例えばカラー撮像装置においては赤外カットフイルタ200と、更に或る場合は被写体のパターンによつて生じる疑信号の発生を防止するための例えば光学低域フイルタ200を配置して第2の歯脂モールド体200を施すようにすることもできる。なお第4図において第2図と対応する。には同一符号を付して重複説明を省略する。

#### 考案の効果

上述したように本案構成においては、第1のモールド体上に更に第2モールド体のを被復させるようにしたことによつてより耐湿性の向上を図ることができる。即ち、この第2のモールド体のを被したって台座(11)と第1のモールド体(13)との間の密着不良による気密性を充分による気密性を充分による気密性を充分による気密性を充分による気密性を充分による気密性を充分による気密性を充分によって中空(2)内の電子部品封着部の内圧が上昇す

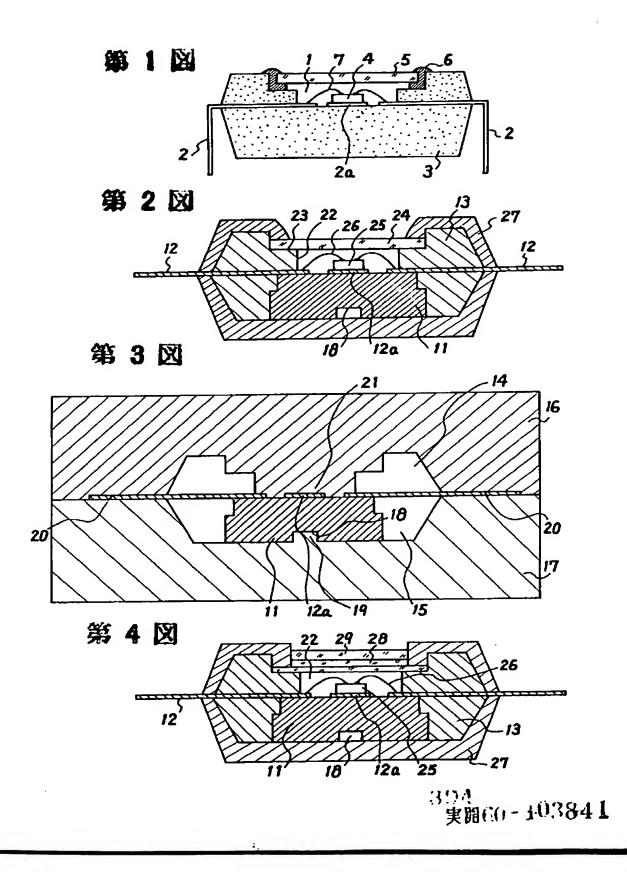
ることによつて更にその外気が中空(22)内に入り込むようなリークの発生を効果的に抑えることができ耐湿の向上が図られる。そしてそのパッケージを樹脂モールド体としたことによつて、セラミックパッケージを用いる場合に比し、量産性の向上と価格の低廉化を図ることができ実用に供してその利用は大である。

図面の簡単な説明

第1 図は従来の電子部品装置の略線的拡大断面 図、第2 図は本考案による電子部品装置の一例の 略線的拡大断面図、第3 図はそのモールド作業の 説明に供する構成図、第4 図は本考案による電子 部品装置の他の例の略線的拡大断面図である。

四は電子部品、(11)は台座、(13)は第1のモールド体、(27)は第2のモールド体、四は監体である。

代理人 伊藤 貞 一



### 手 続 補 正 書

昭和 59 年 200月 21 日

特許庁長官(特許庁審判長

若 杉 和 夫

殿殿)

1. 事件の表示

昭和 58 年実用新案登録願第 195123 号

2. 考案の名称

電子部品装置

3. 補正をする者

事件との関係

実用新案登録出願人

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

名 称 (218) ソ ニ ー

株式会社

代表取締役 大 賀 典 雄

4. 代 理 人 東京都新宿区西新宿1丁目8番1号(新宿ビル) TEL 東京(03)343-5821 (代表)

(3388) 弁理士 伊

藤

貞

日

5. 補正命令の日付

昭和

华

\_\_\_\_

月

6. 補 正 の 対 象

明和書の考案の詳細な説明の個、 図面の高単な説明の個及び図面

7. 補 正 の 内 容

59. 2.23

395

方式



実開び1-103841

**;** 

(1)

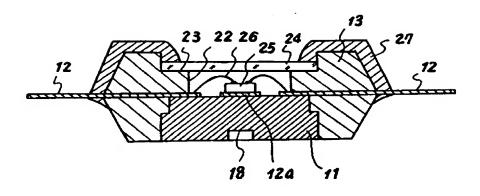


- (1) 明細書中、第8頁、10行「省略する。」の 次に改行して「また、第2のモールド体のは第 1のモールド体(13)の全周を覆つて形成するに限 ちれるものではなく、第5図に示す例のように 蓋体四の中央部以外の全外周上は覆うものの、 前述したように、第1のモールド体(13)の一部上 を除いて形成することができる。尚、第5図に おいて第2図と対応する部分には同一符号を付 して重復説明を省略する。」を加入する。
- (2) 同、第 9 頁、 12 行「第 4 図は」を「第 4 図 及び第 5 図は」と訂正する。
- (3) 図面中、第5図を追加する。

以 上

想正図

## 第 5 図



397 俄罗2.2/ 実開60-103841

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ other:

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.